

ヒゴタイ キク科
Echinops setifer Ilijin

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)



岩美町 2008.9.4/撮影：永松 大

■**選定理由**：県内では東部の海岸1カ所にのみ自生。個体数少なく，花時には採取されることがある。

■**特徴**：やや乾いた山地草原に生育する夏緑性の多年生草本。草丈は1 mほどになり，茎にはくも毛を密生して白く見える。上部で少数枝分かれする。葉は長柄があり，葉身は羽状深裂。裏はくも毛で白色。花期は8-9月。頭花は集まって径5 cmほどの球形となる。九州の草原では以前はふつうにみられたとされるが，採取圧と草原の減少により現在はまれ。県内では海岸の風衝地草原にわずかに自生する。容易に採取できる場所に生えた株には茎を切り取られた跡がみられ，個体群への影響が心配される。

■**分布** 県内：岩美町。県外：本州（西日本に隔離分布），九州。

■**保護上の留意点**：草原の保護，保全。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：52.

執筆者：永松 大